

授業科目名	授業形態	単位数	担当教員名
子ども学ゼミ C	単位認定	1	佐藤 有紀

【ディプロマポリシーとの関連】

<技能・活動的領域(技能・表現)>

5. 子どもの感性や個性を大切に育てるための保育に関する(音楽・造形・体育など)の実践力を身につけている。
6. 子ども学ゼミや実習指導によって習得した技能を保育・教育の現場に用いることができる。

【授業のテーマ及び到達目標】

テーマ: 手作りおもちゃをつくる (身近な素材を用いたおもちゃ製作)

子どもの発達や、あそびについて考えながら手作りのおもちゃを製作します。身近な素材を用いたおもちゃ作りを経験することによって、様々な素材の加工方法や活かし方を身につけ、子どもと一緒に楽しむことのできるおもちゃを自分で工夫しながら制作することを目標とします。

【授業の概要】 講義 ・ グループワーク ・ 個人製作

子どもの育ちの中で必要なあそびを考えながら、いくつかの素材(布・ひも・厚紙・スポンジなど)を用いた手作りおもちゃを製作する。 毎回、作業工程や感想を記録し授業後、作品とともに提出する。

【全体の授業計画・内容】

1. ゼミ紹介

事前学習課題: シラバスを読んで子ども学ゼミの各授業内容を理解しておく。

事後学習課題: 選択したゼミの内容を把握する

2. 授業ガイダンス 子どものあそびについて

事前学習課題: シラバスを読んで授業内容を理解しておく。

事後学習課題: 子どものあそびについて自身の経験をふりかえり、自分なりにまとめておく。

2. おもちゃの素材研究(ひも素材)

事前学習課題: 紐を用いたおもちゃについて調べておく。

事後学習課題: 課題作品を基に次回の製作をイメージしておく。

3. ひも素材を用いたおもちゃ製作

事前学習課題: 作品制作に用いる素材を事前に調査、準備をする。

事後学習課題: 作品について振り返り、作業工程や感想を記録する。

4. おもちゃの素材研究(ストロー素材)

事前学習課題: ストロー素材を用いた手作りおもちゃについて調べておく。

事後学習課題: 課題作品を基に次回の製作をイメージしておく。

5. ストロー素材を用いたおもちゃ製作

事前学習課題: 作品制作に用いる素材を事前に調査、準備をする。

事後学習課題: 作品について振り返り、作業工程や感想を記録する。

6. おもちゃの素材研究(磁石)

事前学習課題: 磁石を用いたおもちゃについて調べておく。

事後学習課題: 課題作品を基に次回の製作をイメージしておく。

7. 磁石を用いたおもちゃ製作

事前学習課題: 作品制作に用いる素材を事前に調査、準備をする。

<p>事後学習課題: 作品について振り返り、作業工程や感想を記録する。</p> <p>8. おもちゃの素材研究(透明素材)</p> <p>事前学習課題: 透明素材について調べておく。</p> <p>事後学習課題: 課題作品を基に次回の製作をイメージしておく。</p>
<p>10. 透明素材を用いたおもちゃ製作</p> <p>事前学習課題: 作品制作に用いる素材を事前に調査、準備をする。</p> <p>事後学習課題: 作品について振り返り、作業工程や感想を記録する。</p>
<p>11. おもちゃの素材研究 手芸用品(マジックテープ・ボタン・スナップなど)</p> <p>事前学習課題: モノを接続して遊ぶおもちゃについて調べておく。</p> <p>事後学習課題: 課題作品を基に次回の製作をイメージしておく。</p>
<p>12. 手芸用品(マジックテープ・ボタン・スナップなど)を用いたおもちゃ製作</p> <p>事前学習課題: 作品制作に用いる素材を事前に調査、準備をする。</p> <p>事後学習課題: 作品について振り返り、作業工程や感想を記録する。</p>
<p>13. 水で遊ぶ玩具製作①(プランニング・素材研究)</p> <p>事前学習課題: モノを接続して遊ぶおもちゃについて調べておく。</p> <p>事後学習課題: 課題作品を基に次回の製作をイメージしておく。</p>
<p>14. 水で遊ぶ玩具製作②</p> <p>事前学習課題: 作品制作に用いる素材を事前に調査、準備をする。</p> <p>事後学習課題: 作品について振り返り、改善点をまとめておく。</p>
<p>15. 水で遊ぶ玩具製作③ 発表・まとめ</p> <p>事前学習課題: 作品制作に用いる素材を事前に調査、準備をする。</p> <p>事後学習課題: 作品を実際に子どもと一緒に使用してみて、その感想をまとめておく。</p>
<p>【学習のあり方】</p> <p>予習のあり方: 授業で用いる用具、素材の事前準備</p> <p>学習のあり方: 積極的に造形、制作活動を行い、創意工夫を試みる。</p> <p>復習のあり方: 授業で体験した制作活動を振り返り、保育・教育での生かし方を考察する。</p>
<p>【成績評価】</p> <p>提出物(70%) 授業態度 (30%)</p>
<p>【課題(試験・レポート等)に対するフィードバックの方法】</p> <p>制作記録・作品に対しての寸評によるアドバイスをを行う</p>
<p>【テキスト】</p> <p>授業時に配布する。</p>
<p>【参考文献】</p> <p>授業時に紹介する。</p>
<p>【実務経験の有無】</p>